行政視察報告書　　総務文教委員会　　　2016年8月10日(水)

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　11番　石井通春

|  |  |
| --- | --- |
| 視察先 | 埼玉県戸田市 |
| 研修テーマ（調査項目） | 人口減少時のシティセールス活動 |
| 1. 調査内容をどう評価するか   ・子育てを標榜しつつ、人口増加を目指す本市に通じるテーマだと思う   1. 今後の課題   ・新宿まで鉄道で20分と言う交通至便の所にありながら、周辺市（川口市、北区、さいたま市など）より、地価が安い、駐車場料金が安いなどの理由によって、「選ばれている」と言う点があり、優位性と言う点で本市には当てはめて考えられない。※駐車場代は都内だと4万円が1万2千円になる  ・戸田ボートの印象があるが、収入は大幅に減って4億円（従来は50億くらいあった）   1. 本市に反映できると思われる点   ・「子育てするなら戸田」のイメージができつつある。地価の他に、都市公園面積（荒川流域の広大な公園）の多さが、そうさせていると感じるが、それだけでイメージとなるものかどうか。目白大学と連携して地域優位性を示すための骨組み造りは、本市でも行えるのではないか。（どういう答えが出るかは将来だと言っていたが）  ・GPS機能を使ったスマホアプリ、「TOCOぷり」は、孤立しつつつながりを広げたいと願っている若いママさんたちにも有用ではないか（効果がどれだけあるのかは統計していないとの事）  ・シティセールスは、タイプ（観光型、産物型、居住地型、企業誘致型、イベント型）のタイプから、目的を明確に特化して行う事が大事であると（戸田は居住地型を選択）ただ、成功事例は少ないとの事。特化するか、併存するか。   1. その他 | |